

ばばだけ！
JTサンダーズ広島



久原 大輝

私がマネジャーに就任してから1カ月がたった。普段は練習のボール拾いや補助もしている。5月までは皆とともに汗を流して戦ったが、いざ、選手を引退して客観的にバレーを見てみると、改めてレベルの高い舞



真剣な表情で指示を聞く選手

逆襲誓い 良い緊張感



台で、自分もプレーをしていたのだと実感した。

プレーはファンの皆さまから見てもすごいのは分かるが、それ以上に一日中、バレーにささげている彼らのハングリィさに気付いた。

「バレーが仕事だから当たり前だろ」という意見もあるだろうが、いろんな誘惑に負けず、食事や睡眠、家での過ごし方、練習前のストレッチ、練習後のケアなど、生活の全てがバレーボール中心である。それだけバレーにささげている、100パーセント勝てるという保証はどこにもないのが、勝負の世界で戦う厳しさを物語っている。

現に昨シーズンはVリーグで6位と、悔しい思いもした。今シーズンに懸ける思いは選手とスタッフ全員が並々ならぬものを持っている。ボール練習でも、全員が危機感を持っており、非常に良い雰囲気を取り組んでいる。Vリーグの開幕まで100日を切ったが、私も一人のJTサンダーズ広島ファンとして、選手が躍動する姿が楽しみで仕方がない。

(JT広島マネジャー)